

# 未来の海について学んだよ!

**MSC認証とは**

資源や環境に配慮した世界共通ルールを守る漁業

MSC認証

商品にはこのマークがついています

**海を守る取り組み**

- 魚を取りすぎない。
- 海の生態系を壊さない。
- ほかの生物に配慮して取る。

**ASC認証とは**

環境や社会に配慮した世界共通ルールを守る養殖場

ASC認証

商品にはこのマークがついています

**海を守る取り組み**

- エサの原料となる魚資源を使すぎない。
- 水質や環境を汚染しない。
- 抗生物質などは過剰投与しない。
- 労働条件や地域社会との関係を良好に保つ。

**MSC**

MSC 海洋管理協議会

「トップバリュー 一本釣りかつお」の作業風景

**ASC**

ASC 水産養殖管理協議会

「トップバリュー 生アトランティックサーモン」の養殖場

7月26日、イオンモール幕張新都心(千葉市)で「未来の海について考える」体験・学習イベントが開催されました。私たちが食べている魚が、とり過ぎにより世界中で減っていることを理解し、海と魚のことを守っていくための認証マーク「MSC」「ASC」のことやイオングループの取り組みなどについて、楽しく学ぶワークショップです。朝日小学生新聞の子ども記者が、イベントの様子取材しながら未来の海と魚について学びました。



子ども記者(右から大導寺朝彦さん、柏崎裕貴さん、森棟優さん、今井柁馬さん、半田咲季さん)

MSCの石井幸造さんが「世界では魚のとり過ぎが問題で、魚は危機的な状況です。天然の魚を守り、次の世代に残していくことが必要です」と語りました。ASCジャパンの山本光治さんは「今世界でとっている魚の量は、天然と養殖で半々です。天然の魚は今以上にとれないなかで

「MSC・ASCは海を守るための海のエコラベル」

「SDGsってなに? ASC・MSCってなに?」というテーマのトークショー取材。SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略です。国連で決められた世界中で取り組むテーマで、エネルギーなど17つの目標が掲げられています。今回のイベントでは、そのなかの一つである「海の豊かさを守る」ことを学びました。

石井さんと一緒に、海の健康を守る役割です。世界の水産物の多くがとり過ぎで、それを適切な量にして海と魚を守り、未来へ資源として残すための活動をしています。

「魚を食べる人は増えていきますから、養殖の役割は大きくなっていきます」といいます。そのためにできたのが、世界共通のルールを守って魚をとったり、養殖したりしている証である「海のエコラベル MSC ASC マーク」です。買い物をするときにMSCマークやASCマークの付いた商品を買うことが、魚や海を守ることにつながるのです。

**SDGsとは**

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるための17の目標と169のターゲットです。日本も積極的に取り組んでいます。

**どんないことがあるの?**

**消費者**

普段のお買い物を通じて認証業者を応援でき、海の環境保護につながる魚などの水産物を未来にのこすことができる

トレーサビリティのある安心な商品が買える

**生産者**

水産資源がなくならず、水産業が続けられる

付加価値のある商品で、他との差別化できる

海の環境を守り、安心して水産物が取れる

**クイズラリーでイオンの取り組みを知ったよ**

会場では「未来の海について考える」きっかけや関心を高めてもらう「うた」のかるた「きりぎりす二魚釣りゲーム」などさまざまな体験イベントが開かれ、にぎわいました。

**取材内容をもちに新聞づくりにチャレンジ**

取材を終え、会議室で新聞づくりにチャレンジ。「天然漁業と養殖場の長所についてまとめた」「MSCとASCの活動と魚の絶滅を防ぐ仕組みについて書きます。それぞれが決めたテーマに沿って、取材ノートを見返し、意見も交換しながら約90分、今日学んだこと、知ったこと、これから自分のできることを紙面にまとめあげていきました。海について深く考えた成果が表れた、素晴らしい新聞ができあがりました。



**子ども記者は「クイズラリー」に参加しました。会場にある食品売り場に行き、クイズに挑戦です。「MSCラベルは何のエコラベルとされているでしょうか?」先ほどまでしっかり取材していましたが、もちろん全員が「海」と回答できました! 売り場では試食もでき、MSCマークやASCマークがついた食品を食べて「すごく美味しい」と口をそろえました。**

**取材した5人の感想**

今井柁馬さん(小学5年)  
海を守る活動を知ることができたのはとても良い経験でした。家族にも教えたいと思います。

大導寺朝彦さん(小学5年)  
魚の危機を救うために、僕たち消費者の意識も大切であることを知り、海を守っていくために自分もできることに取り組みたいと思いました。

森棟優さん(小学5年)  
MSCやASCの活動をみんなが知って海のエコラベル商品を買えば、魚は増えていくと思います。私もお母さんと買い物に行ったら認証商品を買います。

**取材で分かったことを新聞にまとめたよ!**

テーマや新聞タイトルを自分で決めて、取材現場の写真を貼ったり、色鉛筆でアクセントをつけたりしながら、真っ黒になった取材ノートから情報を整理して新聞作りに取り組みました。

**取材した5人の感想**

柏崎裕貴さん(小学6年)  
今のまま魚をとり過ぎると2040年には魚を食べられなくなる可能性があると感じて驚きました。今日は専門家の方にお話を聞いてとても楽しかったです。

半田咲季さん(小学6年)  
ルールを決めるとれば、魚は減らないことが分かりました。みなさんもMSC・ASCマークのついている商品を買ってほしいです。